

テーマ1 学校での活動（シオジリ学）を通して思うこと

- 知ってよかったシオジリ学（企業訪問、シオジリを知る）
 - ・塩尻に住んではいないけど、塩尻について知れることがあった。
 - ・塩尻市は意外と面積が広がった。
 - ・今まで身近にあったのにその会社の名前をしらなかった。
- 会社訪問から
 - ・塩尻について知る機会ができた。
 - ・会社周辺の県の人たちがたくさん訪れるので塩尻を知ってもらえるいい機会になった。
 - ・実際に製造している所を見学できてとてもよい経験になった。
 - ・漆器店では、すごくすばらしい技術が身近にあったことに気づけてよかった。
 - ・長野県野菜花き試験場では、塩尻の自然を活かした大規模な研究をしていて身近に感じられた。
 - ・ホテルでは塩尻のワインや木曾漆器など塩尻との関わりが深かった。

テーマ2 住みたい街とは

- 活気のある町・観光振興
 - ・大門商店街の活性化。
 - ・大門商店街がもう少し復活してくるといいかな？
 - ・映画館がほしい。
 - ・ショッピングモールがほしい。
 - ・テーマパークなど遊べるところが身近にほしい。
 - ・観光客が多くなってほしい。
- 交通環境が良いこと
 - ・バスの本数がほしい。
 - ・道路がガタガタなので直してほしい。
 - ・岡谷木曾方面の電車の本数を増やしてほしい。
 - ・電車を朝日村に通してほしい。
 - ・電車の本数を増やしてほしい。
- その他
 - ・帰ってきたと思えるようなアットホームな街。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

○選挙に行くぞ

- ・若い世代が作っていくので18歳が選挙に参加できることは、良いと思う。
- ・18歳になったら投票に行く。
- ・18歳選挙権は良いとおもう。（若者の声は大事）
- ・自分の考えが反映されるので興味がある。
- ・自分たちの将来の事に深く関わるのでしっかりみて投票したい。
- ・一番勉強しているときだから18歳選挙権は良いと思う。

○でも課題は多い

- ・18歳に選挙権が下がっても投票率は低い…
- ・政府の問題（悪いこと）が多く、投票したい党がない。
- ・憲法違反をしないでほしい。
- ・戦争ができる国にしないでほしい。

○政治を変えるには＝政治に関心を

- ・国民の声をもっとしっかり聞いてほしい。
- ・国民の意見をしっかり聞いてほしい。
- ・具体的な説明会なんかをすれば政治について知識が増えるのに
- ・20～30代の人をもっと投票するべき。政治に関心を持ってほしい。
- ・日本を変えるためには投票しなければならない。今の日本のあり方にもっと関心をもつべき。
- ・もっと国民が政治に関心を持つべきだとおもう。

テーマ1 学校での活動（シオジリ学）を通して思うこと

- 会社は社会の変化に合わせて、常に進化し続けていることが分かった。
- 新聞社は地域に根差した活動を行っていることが分かった。
- 漆器という伝統産業も、ガラスや金属を素材にしたり、企業向けから個人向けへと転換したり、地域の役に立とうと努力している。
- 金融機関で地元が好きだからと就職した方がいた。
- 工業会社なので男性ばかりかと思ったら、女性も活躍していた。
- 社員の家族のことを考えていることに驚いた。

テーマ2 住みたい街とは

- 大門商店街を活性化してほしい。
- 大型店舗より、客と店員とが会話のできるような商店があるといい。
- 商店街を統合して大型ショッピングモールにすべきだ。
- 大人の遊び場だけでなく、中学高校生のための遊び場がある。
- コンビニやスーパーがすぐ近くにある。
- 自然の豊かな町。
- 安心安全な町。
- 交通機関が便利であること。
- 子育てしやすい街。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 18歳になったらぜひ投票に行きたい。友達も誘う。
- 周囲の同世代が、政治に関心がない。新聞なども読まない。
- 選挙や政治のことがわかりにくい。理解してもらえるようにわかりやすい表現にするべきだ。
- 政治家のごたごたを何とかしてほしい。
- 表面的でなく、真心をもって活動をしてほしい。
- 親の世代も政治に関心が薄い。
- 政治家が高齢化している。
- 高校生も政治に参加したい。高校に投票所をつくったらどうか。

テーマ1 学校での活動（シオジリ学）を通して思うこと

- 塩尻にも知らない企業がたくさんあった。
- 社員思いのステキな企業、社員がモノ作りを楽しんでいた。
- 企業とは何なのか、直に触れることができた。
- なぜ塩尻に精密機器会社が多いのか、地域産業について知れた。
- 木曾漆器を作っているところで、すごい職人技に触れることができた。
- 漆器を広めるためいろいろ工夫しており、かける思いが伝わってきた。
- 伝統工芸も時代に併せて変化している部分があることを知れた。
- 小さな企業でも大手企業と繋がり、世界とも繋がっていた。

テーマ2 住みたい街とは

- 商業施設、産地直売所を増やしてほしい。
- ハロウィンだけじゃなくて（若者向けの）イベントを増やしてほしい。
- 大門商店街に借りられるお店スペースがあればいいのだが。
- 電車、地域振興バスの本数が増えるといいのだが。
- 道路を広く、またきれいにしてほしい。
- ご近所さんとの付き合いがあるところに住みたい。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 選挙は必要ですか、選挙をする意味がよく分からない。
- 難しくてあまり選挙に行きたいとは思わない。
- 公約が達成されているか、国民の意見が反映されているか分からない。
- 政治にいいイメージがない。
- 口だけになっていて、実現していない。
- 参加した方がいいのは分かるが、本当に自分の一票が影響するか分からない。
- よく分からないから投票しない人が多いと思う。なんとかしないと。
- 消費税を上げる前にお金の使い方を見直してほしい。
- 国民全員が納得できる税金の使い方をしてほしい。
- 選挙にもお金がかかりすぎで、ネットを使えばいいのに。
- オリンピックより国民のために多くを使ってほしい。
- 議員のやりたいことがはっきりした人に投票をしいたいと思う。

テーマ1 学校での活動（シオジリ学）を通して思うこと

- 介護用品を取り扱っている店だったが、若い人も働きやすそうだった。
- 清掃用具のリース会社だったが、地域の人との関わりを大切にしていた。
- 段ボール製造会社では、男性が多く、力仕事だと思った。
- 観光会社では、お客様を迎えるまでの準備や作業が大変そうでした。
- 家族経営会社では、なんでも言い合って進めるところか家庭的でした。
- 野菜の試験場では、開放的な外仕事、従事者も多かった。
- 車の修理販売会社、修理の大変さがよくわかった。

テーマ2 住みたい街とは

- ショッピングのできる街
 - ・大きなショッピングモールがあるといい。
- 歩道の広い街
 - ・校門前が大変狭い、安全面からも歩道の広さが重要。
- 交通の利便性がよい街
 - ・電車の本数がもっとほしい。
- 自然の多い街
 - ・開発しつつも自然への配慮のある街。
- 専門学校のある街
 - ・県外の学校に行かなければ学べないことがあるので、専門学校が市内にあればいい。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 政治についてよく知らないのに選挙に参加していいのか？若者には荷が重い。
- 若い人の声を取り入れるのは大切で、投票に行くべきであり無駄にしない。
- 国政選挙など全く分からない、言葉が分からないし、住んでいる塩尻のことも良く分からない。
- 日本は政治への関心が低いと思う、もっとマスコミなどで取り上げるべき。
- 住んでいる人の意見が直接伝わるよう、「意見箱」の設置を。

○まだよく分からない、入れたい人がいないと投票に行かなくてもいい
と思う人が増えるだけだと思う。